

## 「観光創造研究」投稿要項

(平成23年4月11日 観光学高等研究センター長裁定)

### 1. シリーズの目的

当「観光創造研究」シリーズ創刊の目的は、北海道大学観光学高等研究センターならびに国際広報メディア・観光学院観光創造専攻において実施されている調査・研究の進捗状況、調査・研究を通して収集された資料、調査・研究成果を、迅速に関連分野の研究者、関連業界および一般社会に公開するとともに、それに対して幅広くコメントを求め、議論を深めていくことにある。このため編集委員会は、北海道大学観光学高等研究センターならびに国際広報メディア・観光学院観光創造専攻に所属する常勤・非常勤の教員、その共同研究者等、観光創造専攻に所属する大学院生（下記の4を参照）による積極的な投稿を期待する。

### 2. 掲載原稿の種類

本シリーズに投稿可能な原稿は、次のいずれかに該当するものとする。

(1) 論文、(2) 研究調査報告・ノート、(3) 書評

なおシリーズに集録する原稿は、原則として日本語または英語で書かれた論文とする。また性格的には原則として学術的に有用なもの、資料価値の高いものとする。集録原稿のテーマは比較的広く設定するが、上記趣旨に鑑み、原則として観光学の高度な展開に寄与し得るものとする。

### 3. 投稿の方法

投稿は、論文の文書ファイル（図表・写真等が含まれる場合はそれらも含めて一つのファイルにしたもの）を電子メールによって事務局に宛てて送付するものとする。文書ファイルは、原則として MS-Word で書かれたものとする。なお、投稿の締切り期限は特に設けず、随時受け付けるものとする。

### 4. 投稿資格

- ・ 北海道大学観光学高等研究センターに所属する専任・特任・非常勤の教員、北海道大学国際広報メディア・観光学院観光創造専攻に所属する専任・特任・非常勤の教員、ならびに北海道大学国際広報メディア・観光学院観光創造専攻に所属する大学院生は直接投稿できるものとする。
- ・ それ以外の研究協力者（共同研究者、シニアフェロー、フェローあるいは当センターリサーチアシスタント等）は必ず観光学高等研究センターまたは国際広報メディア・観光学院観光創造専攻所属の専任・特任教員を経由して投稿するものとする。この場合、経路者となる教員は、原稿の内容や形式等を十分に点検するとともに必要な修正

を行い、責任が持てる形式にしたうえで提出する。

## 5. 論文査読の有無

投稿された(1) 論文は、査読委員会による査読を経て、採用されたもののみ、掲載するものとする。査読は、投稿された報告・論文 1 本につき、編集委員会がその内容に応じて適任と思われる査読者を、査読委員会の中から 3 名（主査 1 名、副査 2 名）選抜することによって行われる。なお、シリーズの趣旨と水準に合致する論文とは言いがたいと査読者が判断した場合には、査読者は、1) 当該論文の掲載を見送る、2) 掲載するうえで必要な改訂（体裁その他の点）を著者をお願いする、などの対応をとるものとする。

編集委員会が投稿原稿を受理した場合、通常 10 日以内に必要な改訂の有無を執筆者に電子メールで直接連絡する。なお、集録が決定した場合、鮮明な印刷原紙作成のために図表・写真等の原データ（例えば Jpeg、Photoshop EPS、原則として 350dpi 以上の画像のもの、など）の提出をお願いする。

なお出版時には、論文の最終ページに受理日・採用日を明記するものとする。

投稿された(2) 研究調査報告・ノート、(3) 書評については、査読委員による査読は行わないが、編集責任者または編集委員会により掲載するにふさわしい内容かどうかの基本的なチェックを行う。その結果、不適切な個所があると判断された場合、編集責任者または編集委員会は、1) 当該論文の掲載を見送る、2) 掲載するうえで必要な改訂（体裁その他の点）を著者をお願いする場合もある。

## 6. 投稿料・原稿執筆料

投稿料は不要。一方、原稿執筆料は支払われない。

## 7. 著作権

- ・ 本誌に掲載された論文・報告に関する一切の著作権は、観光学高等研究センターに原稿が投稿された時点から観光学高等研究センターに無償で帰属させるものとする。
- ・ 論文・報告投稿者が、自己の論文・報告を、自らの使用・公表・又これを翻訳・翻案等して利用することは妨げない。

## 8. 公開方法

本シリーズは北海道大学観光学高等研究センターホームページ上における PDF 公開を主たる公開方法とする。（投稿、採用された論文は、編集委員会が統一的な様式に変換したうえで、同センターホームページ上において、PDF ファイル形式でダウンロード可能なかたちで掲載し、公開する。）

また必要に応じて、冊子体に印刷して公開を行う。

## 9. 原稿執筆要領

### (1) 論文の場合

提出原稿の作成にあたっては、次の点に留意すること。

- 1) A4 版、横書き、各ページ1列組み(2列組みは不可)。
- 2) 活字サイズは、日本語の場合 10.5 ポイント、英語の場合 12 ポイントとする。1 ページあたりの分量は、日本語の場合 1 ページ 40 字 36 行、英語の場合 1 ページ 36 行をそれぞれ目安とする。(これら2つの言語以外の言語による場合は適宜読み替える。以下同様。)
- 3) タイトルページ(1枚目)には、論題、著者名、著者の所属と肩書き(大学院生の場合には修士課程在学中か博士課程在学中かを明記のこと)を記載。なお、日本語論文の場合は、英語表示(論題:メインタイトルおよびサブタイトルならびに著者名、著者の所属と肩書き)も併記する。
- 4) その次のページ(2枚目)には、論文の要旨、キーワード(4-6 つ程度)を記載。要旨は必須とし、一つのパラグラフで記載する。その長さは7-12 行(日本語論文の場合は250 字-400 字程度、英文論文の場合は150 語程度)を目安とし、単に論文の構成を記述するのではなく分析手法や主な結論など内容面での要約も必ず記述する。なお、日本語論文の場合は、英語による要旨(abstract)も記載する。なお、日本語・英語以外の言語の場合の概要は、当該言語に加え、英語または日本語でも要旨を記載すること。
- 5) 本文は、その次のページ(3枚目)から始める。
- 6) 本文開始ページを第1ページとし、論文全体に通しページ(下方中央)を付ける。
- 7) 注は、論文全体として通し番号をつけ、該当ページの下方に記載する(論文の最後にまとめて記載するのではなく)。
- 8) 図と表は区別し、それぞれ必ずタイトルをつける。またそれぞれ通し番号をつける。それぞれの挿入箇所を明示する(図表自体は論文末尾に一括添付する)か、あるいは本文中に直接はめ込むか、いずれでもよい。
- 9) 引用文献は、本文の最後に、著者のアルファベット順に、同一著者の文献が複数あれば刊行年次順に、列挙する。同一著者の同じ刊行年の複数の文献を参照している場合には、刊行年次にアルファベットを付けて区別し、アルファベット順に配列する。
- 10) 文献リストには、引用した文献のみを記載し、引用しなかった文献は記載しない。
- 11) 論文の長さは、特に制約を設けないが、研究論文として最も一般的な長さと考えられるもの(本文が10-30 ページ程度)を目安とする。

### (2) 研究調査報告・ノートの場合

論文の場合に準じる。なお原稿の長さは特に制約・目安等を設けない。

### (3) 書評の場合

- 1) A4 版、横書き、各ページ1列組み(2列組みは不可)。

- 2) 活字サイズは、日本語の場合 10.5 ポイント、英語の場合 12 ポイントとする。1 ページあたりの分量は、日本語の場合 1 ページ 40 字 36 行、英語の場合 1 ページ 36 行をそれぞれ目安とする。(これら 2 つの言語以外の言語による場合は適宜読み替える。以下同様。)
- 3) 1 ページ目には書評で取り扱う書籍名、著者名、出版社名、出版年、ISBN を記載、その後 1 行空けて書評本文を開始する。書評本文終了後、1 行空けて、書評執筆者の氏名、所属と肩書き(大学院生の場合には修士課程在学中か博士課程在学中かを明記のこと)を右寄せで記載する。
- 4) 書評の長さは、A4×2 ページ以内に必ず収めるものとする。

## 10. 投稿要領の改訂

投稿要領の最新時点のものは、随時、北海道大学観光学高等研究センターのホームページに掲載する。

論文の投稿先(編集委員会) : kankosozokenkyu@gmail.com

CATS ウェブページ : <http://www.cats.hokudai.ac.jp/>

「観光創造研究」編集委員会(編集委員は査読委員を兼任) :

編集長 : 石森秀三

委員(50音順) :	臼井冬彦	内田純一	佐藤誠	敷田麻実
	清水賢一郎	西川克之	西山徳明	宮下雅年
	山田義裕	山村高淑		

事務局 : 八百板季穂